**和紙漉き遠足　活動報告書**

２００９年５月３１日

[プログラム]　日本文化体験①～手漉き和紙編～

[目的] カンボジア学生に日本の文化を知ってもらう＆日本人学生が日本について再発見する

[開催日時]　５月３０日(土)１０時～１７時半

[行先]　　小津和紙(日本橋)、日本銀行貨幣博物館ほか

[参加者]　日本人学生　８名　(うち３名初参加)

　カンボジア留学生　７名　(うち４名初参加)　計１５名

[参加費]　５００円(和紙漉き実費)

●イベントを企画するに至った経緯

　発案者である石原が内閣府事業でカンボジア派遣に参加した際、日本における事前研修およびカンボジアにおける本研修において、カンボジアの青年と会話をしていく中で自分がいかに日本の文化について無知であるかということを痛感した。具体的には、カンボジア青年を浅草寺に案内した際に、彼らから「浅草寺は仏教なのか」「なぜ日本人はおみくじで運勢を占おうとするのか」といった素朴な疑問が投げかけられた。しかし我々は“知らない”ために答えられなかった。“知らない”ということは日本人として恥ずべきことだと私は考えた。日本人なのに日本の根源的な文化について答えられなくてよいはずはない、そこから今回の企画は立案された。企画を通じて、わたしたち日本人が自国の文化について深く理解し、カンボジア留学生に自信をもって説明出来るようにしたい。また、カンボジア留学生にとっても、いわゆる若者文化、ポップカルチャーだけでなく、日本古来の伝統的な文化にも目を向けてもらい、実際に文化に触れ、体験することで日本文化の素晴らしさを知ってもらいたい。そんな私の思いから今回のイベントが生まれたのである。

●事前学習会について

今回の企画では、日本人が知っているようで知らない和紙文化について、日本人参加者が一定水準以上の知識を習得し、カンボジア留学生に尋ねられても基礎的な内容については答えられるようにとの目的で事前学習会を行った。今回はCJSCのメンバー１名が事前学習会を担当し、クイズ形式にて①和紙文化の起源、②和紙の原料、③和紙がつくられるまでの過程、④現在身の回りで使われている和紙製品、⑤日本各地の和紙文化　についてレクチャーを行った。

レクチャーを通じて和紙に関心を持った学生も多く、和紙漉き当日へのモチベーション向上にもつながった。

●和紙漉き当日について

当日は２つのグループに分かれて和紙漉きを行った。

Aグループは和紙漉きを３０～４０分程度行った後に、特別室にてスタッフの方より、和紙の原料や特徴、和紙が現代までどのように使われて来たか等の説明を１時間程度して頂いた。BグループはAグループと逆の工程であった。

日本語の説明が理解出来るか懸念していたが、今回参加の留学生は一定以上の日本語能力を持っていたため、通訳も特に必要なく、滞りなくプログラムを進めることが出来た。また、小津和紙のスタッフの方も、言葉よりも実物を見て体感してもらうスタイルを重視していたため、留学生にとっても日本人学生にとっても理解が容易であったように思われる。さらに留学生からの和紙に関する質問も積極的に行われていた。プログラムの終盤では、和紙のテスティングペーパーを用いたプチ書道体験を行うことが出来、留学生の何名かは毛筆と和紙の使い心地を楽しんでいたようである。帰り際に、完成した自作の和紙作品を受け取り、記念撮影をして小津和紙を後にした。

　昼食は日本橋周辺の蕎麦屋にてとった。日本人学生とカンボジア留学生の間でお互いよくコミュニケーションが取れていたように思う。

　午後は、刃物専門店見学と貨幣博物館見学を行った。刃物専門店はあまり関心がなさそうな印象を受けた。貨幣博物館では、館内の展示を見ながら日本における貨幣の歴史を学んだり、世界の貨幣についての理解を深めたりした。ここでも、展示の説明にある用語についてカンボジア学生に説明する機会が何度かあり、両国学生間のコミュニケーションが綿密に取られていたようである。

　移動の最中にも日本人学生が留学生からカンボジア語を教えてもらったり、逆にカンボジア人に日本の銀行制度を教えたりと、遠足全体を通じてお互いに深い交流がなされていた。

●誘導について

事前に下見を実施した上で、参加者が迷いそうな場所３ヶ所にCJSCメンバーが立ち、誘導を行った結果、１人も迷うことなく集合場所に辿り着くことが出来た。

●広報について

今回はPCのCJSCメーリングリスト、mixiのコミュニティトピック、外語大＆留学生協会内でのクチコミによって広報が行われた。早期に締め切りを設定したが、締切日にはほぼ定員に達することが出来た。しかし、遠足前日になってカンボジア学生２名が急遽キャンセルがあった。幸い今回はキャンセル料は発生しなかったが、今後も同じような事態が起こることが十分考えられるので対策が必要である。また、次回からは募集時にカンボジア留学生の日本語能力を確認した方が、プログラム運営上都合がよいと感じた。

●アンケート結果について

※参考資料参照

●企画を通じて感じたこと

①リーダー経験を通じて得たもの

一言で言えば「達成感」に尽きると思う。構想を企画にしたのが４月の中旬。新CJSC体制になって最初のイベントであり、なおかつ新メンバーが加入して一番初めのイベントだけあって、絶対に失敗は許されなかった。昨年度のイベントは、交流という面では十分目的が達成されていたが、気づきや発見といった要素が足りていなかった。第１回学生会議も消化不良な点があることは否めない。そういった意味でも、今回は参加者に何かひとつでもいいから「学び」を体感してほしかったし、その目標に向けて勉強会などの設定を行った。当日までのプロセスにおいても全てにおいて前倒しで進めた結果、特に大きなトラブルもなく当日を迎えることが出来た。小津和紙の方々の親切な対応には感謝してもしきれないのだが、それ以上に、事前準備や当日の誘導や会計などに協力してくれたCJSCのメンバーあっての成功だったと思う。イベント当日、カンボジア留学生・日本人学生共に終始笑顔が絶えなかったのが私個人として最も満足した点である。

②今後リーダーを担当するメンバーへのメッセージ

プログラムを企画・運営するにあたって、これからリーダーになるメンバーには以下の５点を踏まえてイベントをつくっていってほしいと思います。

ⅰ）何事も段取り８分

日程案や企画内容を考える際、あれもこれもと多くの要素を盛り込みすぎても、実際はその計画通りにいかないことの方が多いです。計画を立てるのも大事ですが、それを実行するにあたって、仮に計画通りにいかなくても、柔軟に対応して変化を楽しむくらいの心構えが大切だと思います。

ⅱ）何事もポジティブに

予定通りに事が進まないとネガティブな思考になりがちですが、角度・視点を変えればどんなネガティブなこともポジティブになります。イベント準備を進めていくにあたり、作業が思うように進まない、参加者が集まらないなど、様々な問題が発生すると思いますが、それらもひとつの経験として前向きに対処していきましょう。

ⅲ）自分たちが１番楽しめる企画を

どんなイベントでも主催者が楽しまないことには参加者は楽しんでくれません。

企画を考えるプロセスにおいても、他のメンバーを巻き込みながら楽しく準備していきましょう。ちなみに本企画の準備においては、「下見」が個人的に一番楽しかったです。

ⅳ）新しい分野のこと勉強する際は、深く入りすぎない

今回の勉強会においては、和紙文化の専門的な知識についてはあまり触れず、ごく基本的な内容の学習にとどめました。深い知識はなかなか定着しません。何事もまずは基本から！！今回のように、普段私たちが目にしている和紙製品から文化を捉えるというのも、理解を深めるにはよい方法だと思います。

ⅴ）カンボジア留学生目線で考える

日本人にとっては当たり前の時間感覚でも、カンボジア学生にとっては違うかもしれません。三越前駅まで日本人なら迷わず来ることが出来ると思いますが、初めて日本にやってきたカンボジア学生にとっては地下鉄の乗り換えの仕方がわからないかもしれません。常に相手を気遣う心を大切にしてくださいね。

そして…アクションに出ること！！

困ったことや相談があればいつでものります。頑張って下さい。

③全体を通して

初参加の日本人学生及び留学生から、今回のプログラムがとても密度の濃い、楽しいものであったという評価を多数頂いた。私自身も参加者を引率するだけでなく、一参加者としてプログラムを楽しむことが出来、非常に満足している。全体的に今回のイベントに対し高い評価が得られたので、次回以降のCJSCイベントに参加するインセンティブになったのではないかと思う。

(文責：石原裕文)

(参考資料)

日本カンボジア学生会議（CJSC）

和紙漉き体験遠足アンケート

１．今回のイベントはどこで知りましたか？

　　CJSCのメンバーから（４）　　　　CJSCのHPを見て（０）

　　友人・知人から（５）　　　　　　　その他（０）

２．参加費はどうでしたか？

　　高かった（０）　　　　　ふつう（７）　　　　　安かった（２）

３（日本人学生用）．和紙について、今回のイベントではじめて知ったこと、発見したことはありますか？それはどのようなことですか？

* カンボジアの方のほうが和紙のような日本文化に詳しい
* 和紙が丈夫だということは知らなかった
* 和紙が予想以上に丈夫だったこと

３（カンボジア学生用）．Was the explanation about Washi enough? Do you have any question about Washi?

* Yes. No question.
* Yes, I learned a lot of Washi knowledge.
* Enough
* I think the explanation was detailed enough, though I cannot understand Japanese very well. However, as shown, I can understand and can do it.
* The explanation was perfect.

４．今回のイベントに参加してよかった点・楽しかった点を書いてください。

* 留学生と一緒に和紙について知れて、一緒に驚いたりできたこと。日本人もあまり知らないことをイベントのテーマにしたのがよかったのだと思います。
* 参加者が多くてすごく楽しかったです。
* 国内外問わずに知り合いが増えた、知り合いに再開できた。和紙体験楽しかったし、このおかげで仲も深まった。
* 交流
* Learn about Japanese arts skills, meet friends
* It makes change for me to know many new friends.
* I just saw it for the first time since I came here to Japan. I really surprised and admire this event very much. At last, I learn a lot about the usage of the Japanese paper.

５．今回のイベントの悪かった点・改善すべき点があれば書いてください。

　・和紙の説明を受けたりだとか、興味のない人は退屈そうでした（これはしょうがないと思いますが）。

* I don’t think it has much bad point, but I rather suggest to have open to as many people as can in order to let them know more about this program.

６．こんなイベントがあれば参加してみたい！というものがあれば書いてください。

* もちつき大会、ラフティング
* スポーツ大会、もちつき、BBQなど
* I appreciate this program very much, especially the way they let us practice.
* BBQ, camping

７．その他意見・要望があれば自由に書いてください。

* 参加してよかったです！ありがとうございました。
* It was a happy and useful event.
* Thanks for inviting me to this event, especially ryosan.
* As written in number 5&6, I want it to be more openly.
* Thank you very much for organize this event.

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上